

事業評価書

補助事業名	救急用資器材購入事業						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま石川地内（石川消防署）						
補助事業の成果の目標	<p>うるま市では、現在6台の救急車を配備し運用している。救急件数は増加傾向にあり二次、三次と同時出動する事も少なくない。複数の同時救急要請があれば、他署から出動となり到着まで時間を要する為、直近の署から職員が現場出動し応急処置にあたる。現有する救急初期対応セットは、一式を除き経年使用による傷みが目立ち、使用中の意図せぬ破損等の不安がある。また、当消防本部は、ポンプ車等へのAED搭載がなく、ポンプ車等が単独出動で心肺停止事案へ遭遇した場合対応の遅れが懸念される。このことから救急用資器材一式を整備することで、安定した救急初期対応を実施できる環境を維持し救命率の向上を図る。</p> <p>【参考資料】 年間使用回数：12回 年間不具合件数：0回</p>						
補助事業の内容	<p>（救急初期対応セット（3式） 車載用AED（10台）</p>						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	2,596,000					2,596,000
	交付金額	2,590,000					2,590,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価について】 年間の資器材の不具合及び修繕状況、年間の使用回数について現在確認中。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域住民への理解を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知。 1) 市ホームページへ掲載済 2) うるま市広報誌への掲載済 3) 資器材へ「令和元年度 沖縄防衛局 調整交付金事業」と表示済</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも安定した効率的な救急業務を維持出来るよう、地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						